

一次のひらがなの言葉をローマ字の小文字で書きましよう。

(ア) なまえ

.....

 n a m a e

(イ) せかい

.....

 s e k a i

(ウ) うみ

.....

 u m i

(エ) おわり

.....

 o w a r i

二 県の名前をローマ字で書いてみよう。

人の名前や地名は、はじめの字を大文字で書きます。



.....

 K a n a g a w a

《先生方へ》

表記については、必要に応じて訓令式とヘボン式の両方を扱うようにします。学校では訓令式表記を基本としていますが、実社会ではヘボン式表記が一般的で、多く使われていますね。

【参考】

- 撥音：原則として撥音「ん」は「n」で表す。
例：genki <元気>
- 促音：原則として、促音は直後の子音字を繰り返す。
例：kippu <切符>
- 長音：(1) 母音字の上にサーカムフレックス(山形)をつける。(訓令式)
例：Kyōto <京都>
- (2) 母音字の上にマクロン(横棒)をつける。(ヘボン式)
例：Kyōto <京都>

